

関係自治体・関係機関の皆さまへ

令和8年度

受講者を募集!

近畿地方整備局が、関係自治体、関係機関の職員の技術力向上支援として実施している管内研修・講習会において、受講生の受け入れを募集いたします。

近畿地方整備局管内研修・講習会

対象研修・講習会	日程	受け入れ人数
道路管理	5月11日(月)～5月14日(木)★	5名
河川管理	5月14日(木)～5月22日(金)★	5名
建設生産システム(事務所係長級)	5月18日(月)～5月20日(水)★	5名
ICT活用(入門)①～②	6/1★、6/22	各10名
ICT活用(初級)①～④	6/3★、6/24、7/13、7/27	各10名
生産性向上	6月15日(月)～6月18日(木)	10名
橋梁メンテナンス(初級Ⅰ)Ⅰ期・Ⅱ期	6/29～7/3、9/28～10/2	各30名
BIM/CIM①～③	7/8～7/10、7/22～7/24、9/2～9/4	各5名
電気通信技術(上級) 【3年毎の開催】	7月13日(月)～7月17日(金)	5名
舗装	7月21日(火)～7月24日(金)	5名
ICT活用(中級)①～②	8/24、10/6	各5名
トンネル・道路土工構造物メンテナンス	9月14日(月)～9月17日(木)	17名
広域・都市計画 【隔年開催】	9月28日(月)～9月30日(水)	5名
橋梁メンテナンス(初級Ⅱ)	10月26日(月)～10月28日(水)	25名
ダム 【隔年開催】	11月18日(水)～11月20日(金)	5名
建設生産システム(監督・検査)	11月30日(月)～12月4日(金)	5名
土質試験講習会(1日コース)①	10月13日(火)	30名
コンクリート試験講習会(1日コース)①	10月14日(水)	30名
アスファルト試験講習会(1日コース)①	10月15日(木)	30名
試験講習会(3日コース)①土質・コンクリート・アスファルト	7月7日(火)～7月9日(木) ※同日開催	各6名
試験講習会(3日コース)②土質・コンクリート・アスファルト	9月1日(火)～9月3日(木) ※同日開催	各6名
試験講習会(3日コース)③土質・コンクリート・アスファルト	9月29日(火)～10月1日(木) ※同日開催	各6名
試験講習会(3日コース)④土質・コンクリート・アスファルト	11月4日(水)～11月6日(金) ※同日開催	各6名
堤防点検講習会①～④	6/11★、9/17、10/22、11/26	各12名
水質異常時対応講習会①～②	9/9、10/7	各6名

※実施場所は、近畿技術事務所(大阪府枚方市山田池北町11-1)となります。(一部web研修予定)

※研修の申込期限は研修初日の45日前ですが、★印の日程は4月14日です。

※講習会の申込期限は、★印の日程は4月14日です。その他はHPをご確認下さい。

お申込み・お問合せ

〒540-8586 大阪市中央区大手前3-1-41 大手前合同庁舎



国土交通省 近畿地方整備局 企画部 技術調査課

TEL:06-6942-1141

URL:<https://www/kkr.milt.go.jp>



最新の情報は
こちらから



効率的に職務を行うために必要な
知識・行政能力の向上を
幅広い研修・講習会プログラムで支援します



橋梁メンテナンス研修 近接目視の演習



トンネルメンテナンス研修 トンネル点検の様子



コンクリート試験講習会 テストハンマー実習



砂防研修 緊急点検実習



土質試験講習会
グループワークの様子



トンネルメンテナンス研修
ゼミナール課題発表



建設生産システム研修(監督検査) 監督検査実習



コンクリート試験講習会
配筋探査実習



アスファルト試験講習会
ホイールトラッキング供試体作製実習

参加者の声

トンネルメンテナンス

- トンネル施工の予定があるため、施工一連の流れがわかり、変状が発生しやすい注意箇所の紹介もあり大変参考になった。

道路土工メンテナンス

- 実際に現場での着目点を教えてもらい、判定の付け方を身につけることができた。直営診断をする際に役立てられるようさらに知識を深めたい。

橋梁メンテナンス(初級I)

- 健全性の診断(判定)のコツなどテキストにないことを説明してもらえ、研修に参加した意義を感じた。

BIM/CIM

- 3Dモデルから実際に横断面図や断面図、正面図等を作成することで、操作方法がよく理解できた。また、実際に操作を行ったことで、3Dモデルの操作が特別難しい物ではないと感じることができた。

ICT(中級)

- 施工手順を映像で見ることで、協議時の共通認識の向上や安全な施工方法の検討などいろいろなメリットがあることがわかった。
- 土工以外は経験がないため、今後の参考にしたい。どんな工種でも適用できることが分かったし、工種で使い分けるよりも1つの工事全体でICTを活用できればより生産性が向上するような気がした。